



Network Adapter for Native

Merging AES67 RAVENNA ASIO Driver(MAD)は、オンボードのものも含め、あらゆるギガビットイーサネットアダプターで動作しますが、AoIP専用にNICカードをご用意ください。

最適なパフォーマンスを得るには「Intelギガビットネットワークアダプター」のご使用を推奨します。

Windows コントロールパネル > デバイスマネージャー で、ネットワークアダプターを探し、カードを選択して右クリック > プロパティ を開いてください。

- *Green Ethernet*
- *Energy Efficient Ethernet*
- *Ultra Low Power mode*(超低電力モード)
- *System Idle Power Saver*(システムアイドル時の省電)

などの「電源管理機能」関係の設定を無効にしてください。

これらのオプションは通常「電源管理」タブにありますが、NICのメーカーとモデルによって場所が異なります。

- *Reduce link Speed during standby*(スタンバイ時にリンク速度を下げる)を無効に設定してください(特にRAVENNAネットワークでスイッチを使用している場合)。
- *Reduce Speed on Power Down*(電源切断時に速度を下げる)も無効に設定してください。
- *Wake on LAN* も無効に設定してください(必須ではありません)。

追加の注意事項

- *Jumbo packet*(ジャンボ パケット)はサポートされていません。
- *Interrupt Moderation*(割り込み節度)は、無効にすると(デフォルトでは有効)シンク ジッターの削減に役立つことがあります。
- *Receive Side Scaling*(受信側スケーリング)は、デフォルト値で有効にする必要があります。
- *Receive Side Scaling Queues*(受信側スケーリングキュー)は、キューが2つあるとパフォーマンスが非常に低下する可能性があるため、1(デフォルト値)に設定する必要があります。
- パフォーマンス オプションは通常、デフォルト値のままにしておいてください。これは以下の設定を行うことと同義です。
 - *Adaptive Inter-Frame Spacing*(アダプティブ インターフレームスペーシング)を無効に設定
 - *Flow Control*(フロー制御)を RX と TX に設定
 - *Interrupt Moderation rate*(割り込み節度レート)を Adaptive に設定
 - *Receive Buffers*(受信バッファー)を 256 に設定
 - *Transmit Buffers*(送信バッファー)を 512 に設定



Realtek 2.5 GbE コントローラーでは、受信バッファのデフォルト値が 512 に設定されていることがあります。これは 256 に設定してください(送信バッファは 512 のままにしてください)。

Windows 10 から Windows 11 にアップグレードすると、重要な「RSS Queues」など、特定の設定にアクセスできなくなる場合があります。

そのような場合は、「デバイスマネージャー」を開き、ネットワークアダプターを右クリックして「ドライバー」に移動し、「ドライバーのダウングレード」を選択してください。これにより、非表示の設定にアクセスできるようになります。

実際に dsp-AVC で使用しているNIC

1 Port

- Intel 82574L (1bit)
- Intel i210 (1bit)

2 Port

- Intel EXP i9402PT (4bit)
- Intel EXP i9301CT (1bit) 82574L chip